

スーパー耐久シリーズ 2016 第3戦 SUZUKA “S耐” サバイバルに 会員6社 + 事務局が出展

6月11日～12日 / 鈴鹿サーキット

6月11日(土)～12日(日)に鈴鹿サーキットで行われた「スーパー耐久シリーズ2016第3戦SUZUKA“S耐”サバイバル」に、当振興会の会員6社 + 事務局が出展致しました。

決勝が行われた12日は生憎のコンディションとなりましたが、午後7時過ぎのチェッカーフラッグまで多くの観客がレースを見守り、昨年以上の盛り上がりとなりました。なお、ST-XクラスはENDLESS・ADVAN・GT-Rが優勝しました。

25年目を迎えたS耐鈴鹿は今回、ST-2からST-5クラスまでを対象に、初の試みとなる「セカンドチャンス100」なる予選システムが導入され、例年以上に熱い予選が繰り広げられました。こうした試みもあり、今年のS耐鈴鹿は初日から多くの来場者で賑わいました。

鈴鹿サーキットのGPスクエアに設けられたNAPAC合



同ブースゾーンには会員社のエイチ・ピー・アイ、エンドレスアドバンス、小倉クラッチ、PIAA、藤壺技研工業、ブリッド並びに事務局が出展しました。

出展各社では最新のスポーティングパーツ、ドレスアップパーツ、モータースポーツパーツを展示し、車好きの来場者等にアピールするとともに、熱心な質問や問い合わせに対応しました。

また、事務局ブースで「8月2日はオートパーツの日」のエアサイン等を設置し、同記念日の認知拡大に努めました。



NAPAC 事務局



エイチ・ピー・アイ



エンドレスアドバンス



小倉クラッチ



PIAA



藤壺技研工業



ブリッド